

Ⅲ 調査の結果

1 暮らし向き

問1 暮らし向き

お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろに比べて良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

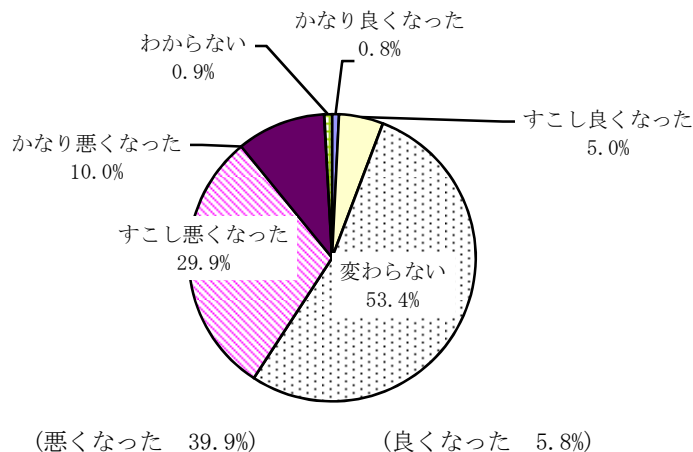
	(%)
1 かなり良くなった	0.8
2 すこし良くなった	5.0
3 変わらない	53.4
4 すこし悪くなった	29.9
5 かなり悪くなった	10.0
6 わからない	0.9

それは主にどういう理由によるものですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(回答者=479人)	(%)
1 日常の生活費が増えた		21.5
2 収入が減った(働き手が減った)		45.3
3 営業不振、営業経費が増えた		7.1
4 教育費が増えた		6.3
5 特別事情による(結婚、出産、病気、災害など)		11.1
6 その他		8.1
7 わからない		0.6

暮らし向きが昨年に比べて「良くなった」と思うか、それとも「悪くなった」と思うかを聞いたところ、「悪くなった」と答えた人の割合が39.9%（「すこし悪くなった」：29.9%、「かなり悪くなった」：10.0%）、「変わらない」が53.4%を占めている。

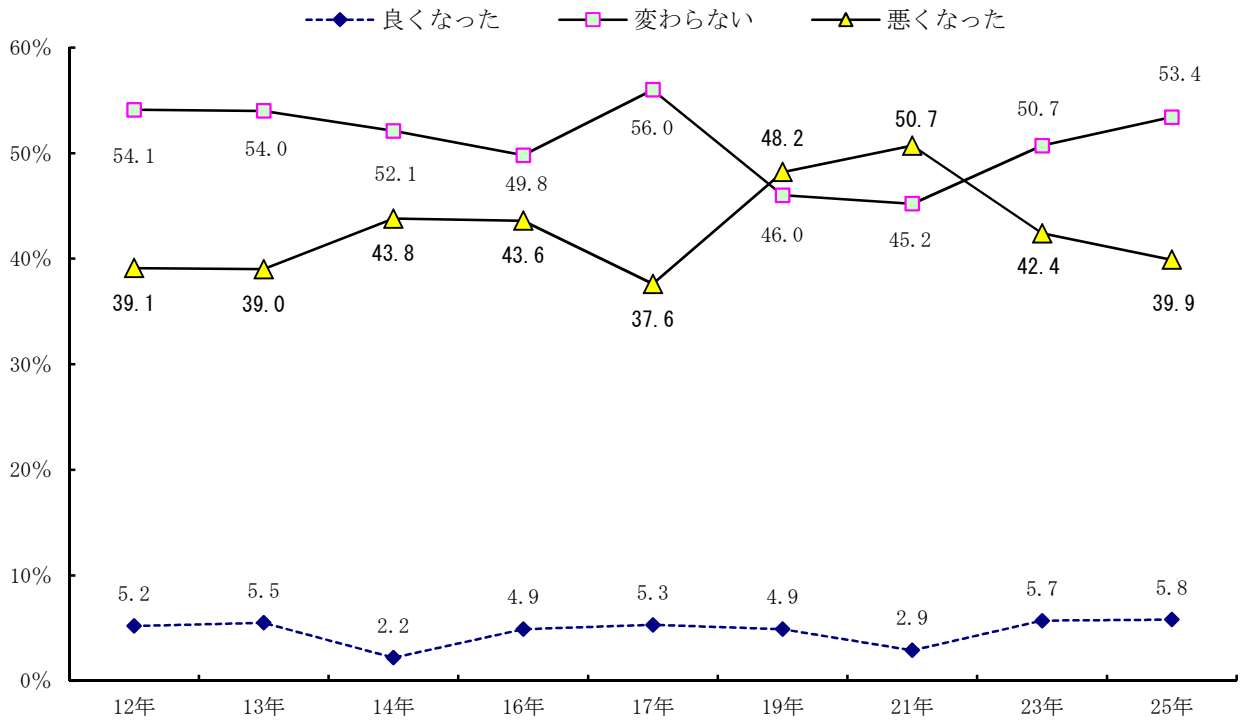
また、「良くなった」と答えた人の割合は5.8%（「かなり良くなった」：0.8%、「すこし良くなった」：5.0%）であった。



【経年変化】

経年変化をみると、「悪くなった」と答えた人の割合が平成21年から減少に転じ、平成23年調査（以下「前回調査」という。）と比較して2.5ポイント減少している。

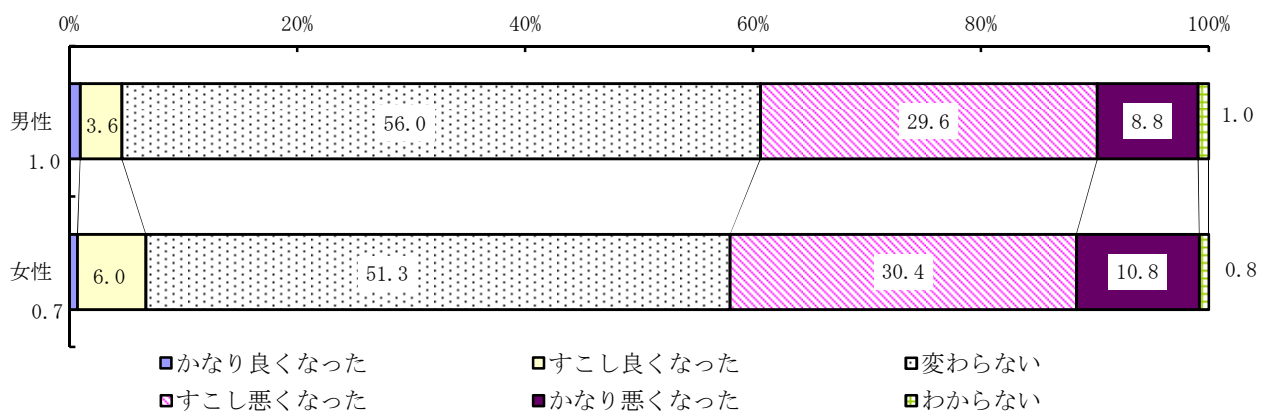
また、「変わらない」及び「良くなった」と答えた人の割合は平成21年から増加に転じ、前回調査と比較してそれぞれ2.7ポイント、0.1ポイント増加している。



【性別】

性別にみると、「良くなった」及び「変わらない」と答えた人の割合の合計は男女共に50%を超えている。（男性60.6%、女性58.0%）

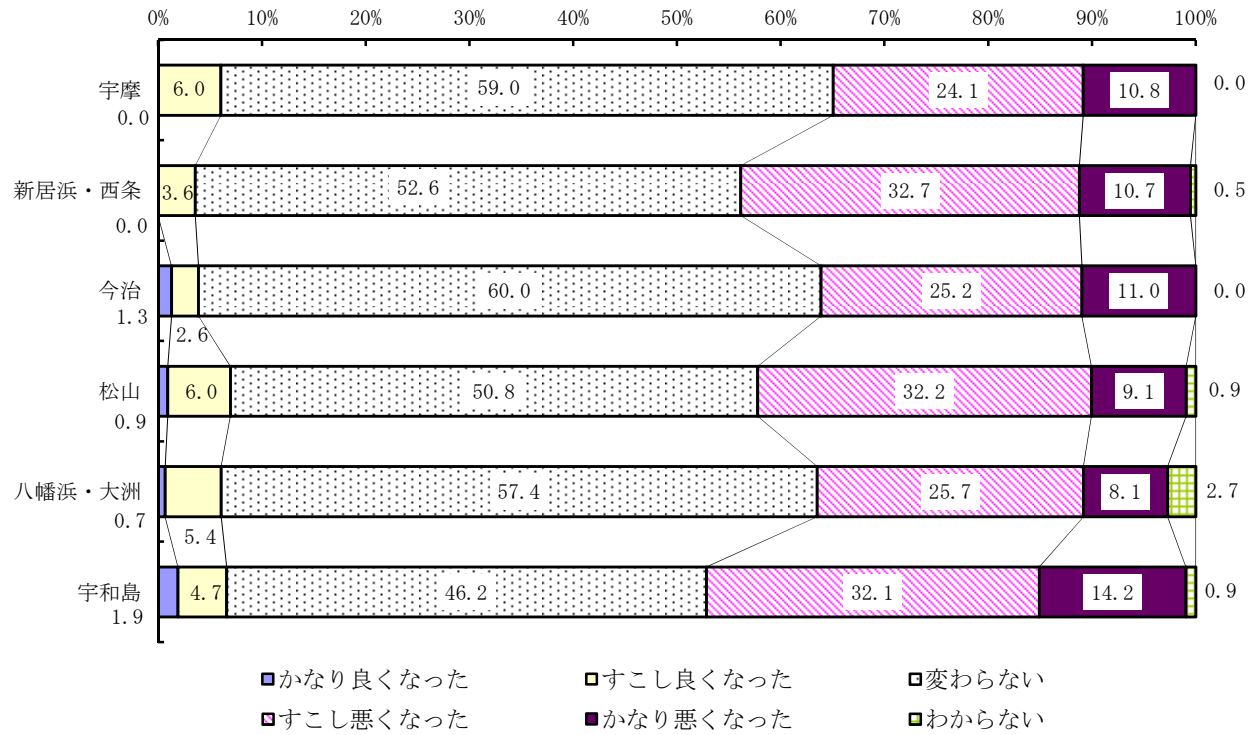
一方、「悪くなった」と答えた人の割合は、女性（41.2%）の方が男性（38.4%）よりも多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「変わらない」と答えた人の割合が最も多く、宇和島圏域を除く全ての圏域で50%以上となっている。

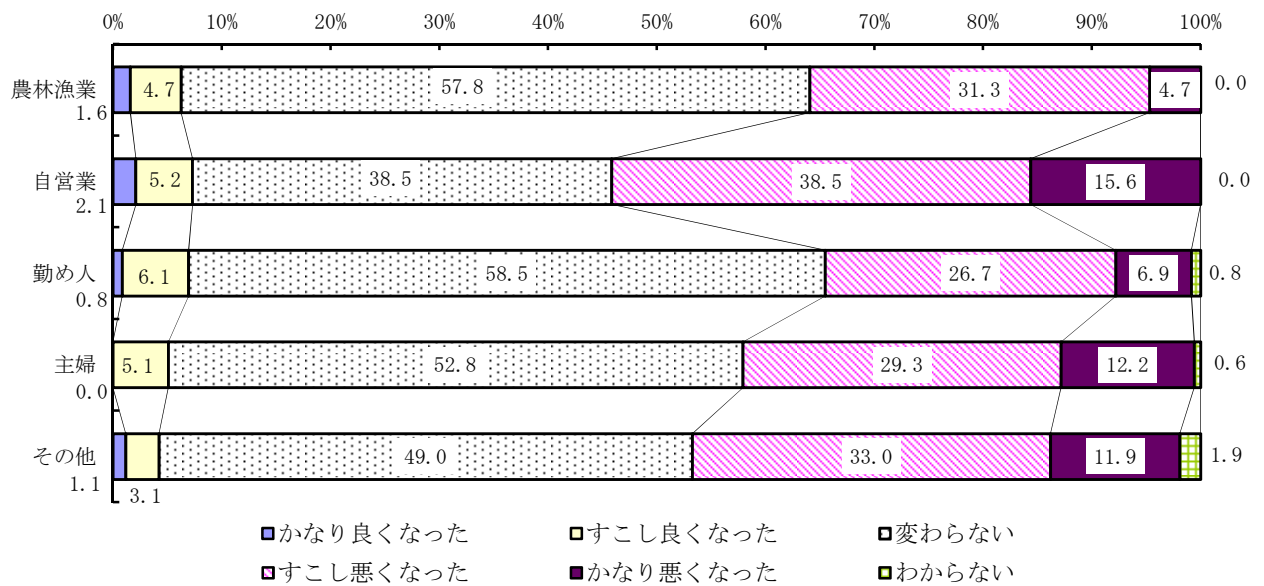
また、宇和島圏域では、「悪くなった」と答えた人の割合は46.3%（前回調査より5.8ポイント増加）と他の圏域と比較して最も多くなっている。



【職業別】

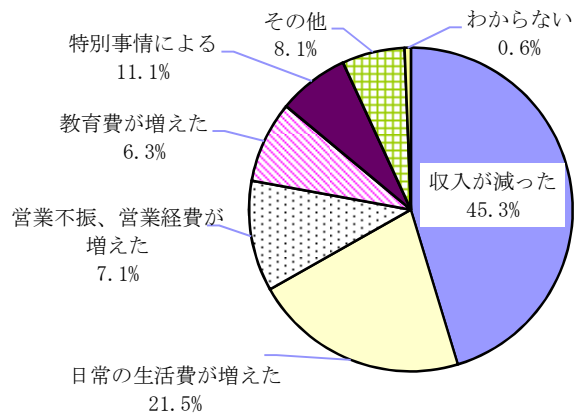
職業別にみると、自営業で「悪くなった」と答えた人の割合が54.1%で最も多く、前回調査と比較して6.0ポイント増加している。

また、農林漁業、勤め人、主婦及びその他では「変わらない」と答えた人の割合が最も多くなっている。（「良くなった」「変わらない」「悪くなった」の3区分での比較）



《暮らし向きが悪くなった理由》

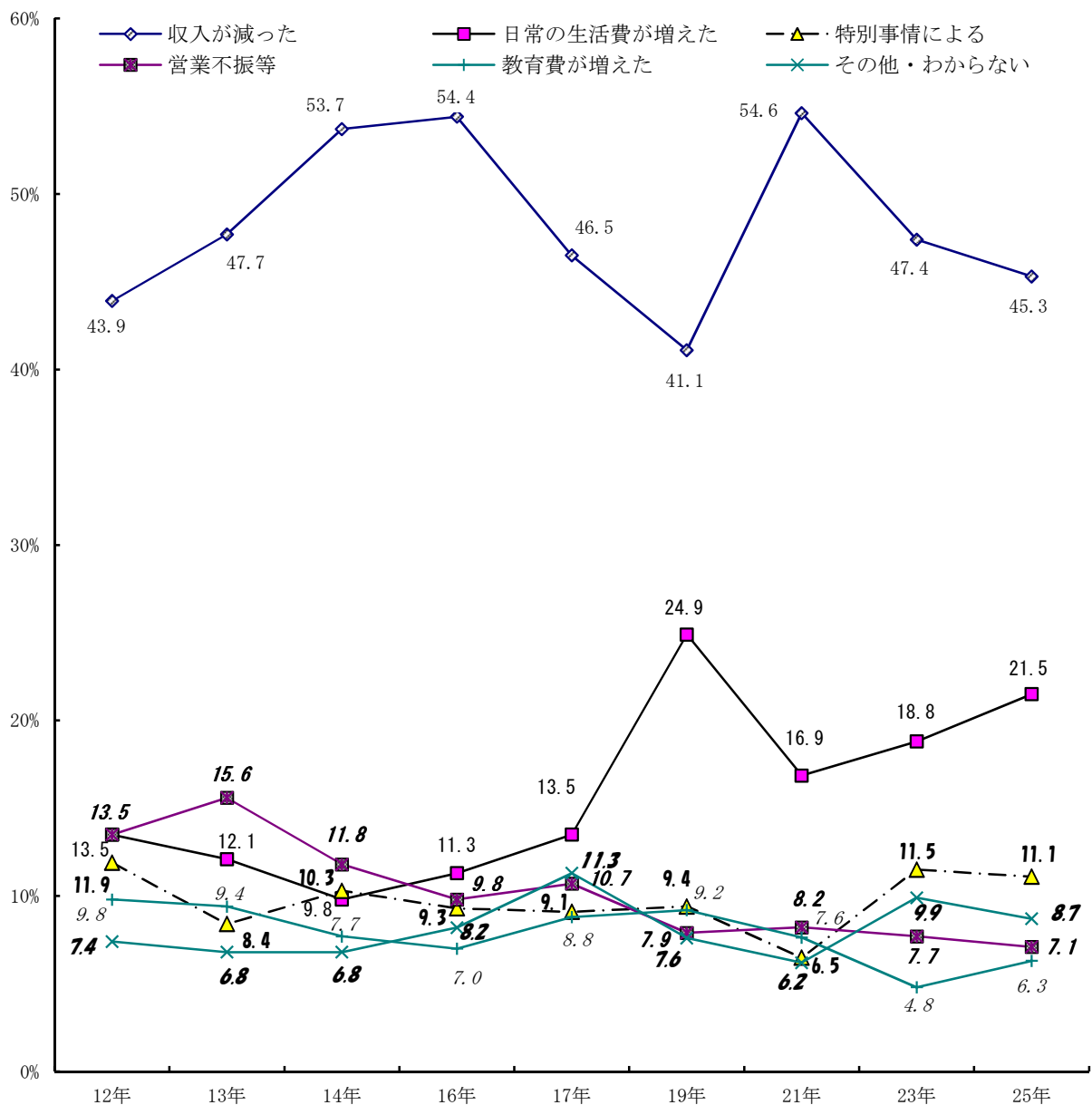
暮らし向きが「悪くなった」と答えた人に、その主な理由を聞いたところ、「収入が減った（働き手が減った）」(45.3%)が特に多く、以下「日常の生活費が増えた」(21.5%)、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」(11.1%)、「営業不振、営業経費が増えた」(7.1%)、「教育費が増えた」(6.3%)の順となっている。



【経年変化】

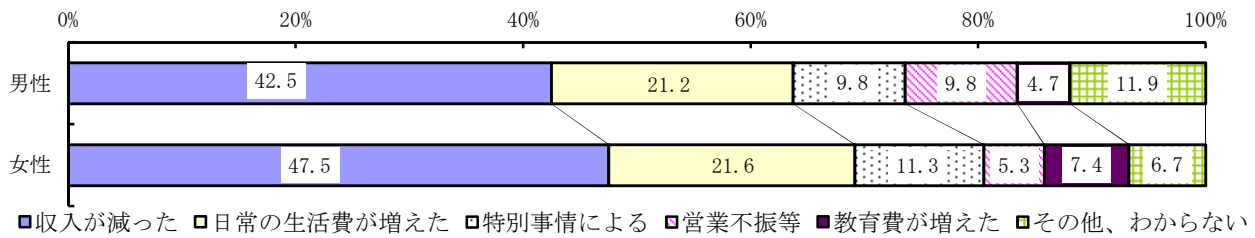
経年変化をみると、暮らし向きが悪くなった理由のうち「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合は、前回調査よりも2.1ポイント減少している。

また、「日常の生活費が増えた」は前回調査より2.7ポイント増加し、「教育費が増えた」と答えた人の割合は前回調査より1.5ポイント増加している。



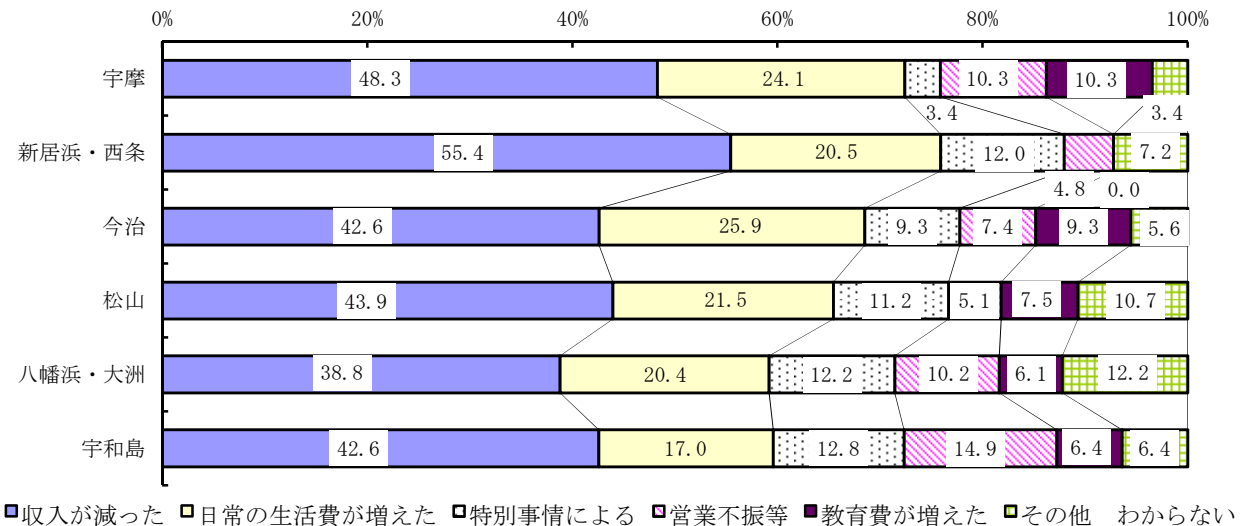
【性別】

性別にみると、男女共に「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多く、男性で42.5%、女性で47.5%であった。（前回調査と比較すると、男性で9.7ポイント減少、女性で3.6ポイント増加）また、「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合は、女性（21.6%）の方が男性（21.2%）よりも0.4ポイント多く、「特別事情による（結婚、出産、病気、災害など）」、「教育費が増えた」も女性の方が多くなっている。



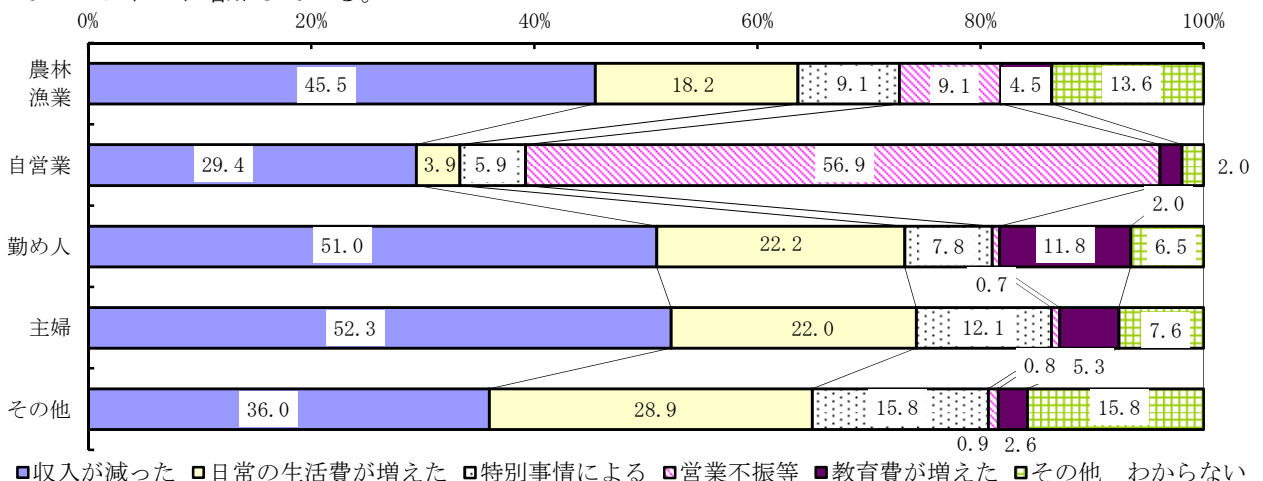
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域（48.3%）、新居浜・西条圏域（55.4%）で特に多くなっている。前回調査と比較すると、新居浜・西条圏域で11.9ポイント増加しているが、宇摩、今治、松山圏域では減少している。また、「日常の生活費が増えた」と答えた人の割合は宇摩圏域及び今治圏域で、「営業不振、営業経費が増えた」は宇和島圏域で、それぞれ他の圏域と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、自営業を除く全ての職種で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人の割合が最も多いが、前回調査と比較すると主婦を除く全ての職種で「収入が減った（働き手が減った）」と答えた人は減少している。また、自営業は「営業不振、営業経費が増えた」と答えた人が最も多く（56.9%）、前回調査と比較して10.1ポイント増加している。



問2 暮らし向きの変化

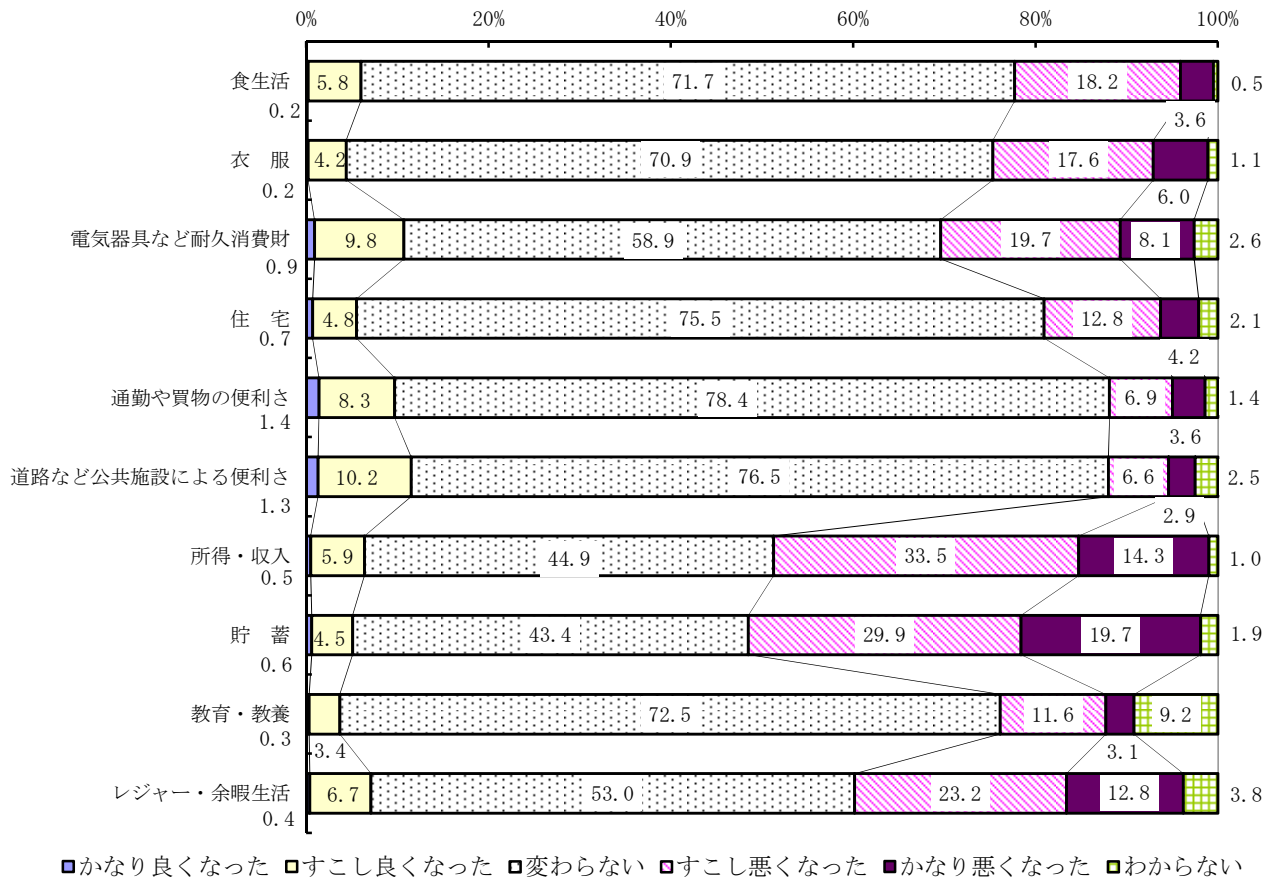
お宅の暮らしの中で、次の各項目は、昨年の今ごろに比べ良くなりましたか。それとも悪くなりましたか。項目ごとにそれぞれ該当するものを一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

項目	かなり良くなった	すこし良くなった	変わらない	すこし悪くなった	かなり悪くなった	わからない
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1 食生活	0.2	5.8	71.7	18.2	3.6	0.5
2 衣服	0.2	4.2	70.9	17.6	6.0	1.1
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	0.9	9.8	58.9	19.7	8.1	2.6
4 住宅	0.7	4.8	75.5	12.8	4.2	2.1
5 通勤や買物の便利さ	1.4	8.3	78.4	6.9	3.6	1.4
6 道路など公共施設による便利さ	1.3	10.2	76.5	6.6	2.9	2.5
7 所得・収入	0.5	5.9	44.9	33.5	14.3	1.0
8 貯蓄	0.6	4.5	43.4	29.9	19.7	1.9
9 教育・教養	0.3	3.4	72.5	11.6	3.1	9.2
10 レジャー・余暇生活	0.4	6.7	53.0	23.2	12.8	3.8

(参考)	良くなった	変わらない	悪くなった
1 食生活	6.0	71.7	21.8
2 衣服	4.4	70.9	23.6
3 電気器具、家具、自動車 など耐久消費財	10.7	58.9	27.8
4 住宅	5.5	75.5	17.0
5 通勤や買物の便利さ	9.7	78.4	10.5
6 道路など公共施設による便利さ	11.5	76.5	9.5
7 所得・収入	6.4	44.9	47.8
8 貯蓄	5.1	43.4	49.6
9 教育・教養	3.7	72.5	14.7
10 レジャー・余暇生活	7.1	53.0	36.0

暮らしの各面から10項目を取り上げ、昨年に比べて「良くなった」（「かなり良くなった」及び「すこし良くなった」）と思うか、それとも「悪くなった」（「すこし悪くなった」及び「かなり悪くなった」）と思うかをそれぞれ聞いたところ、「所得・収入」及び「貯蓄」の項目で「悪くなった」と答えた人の割合が多くなっている。（「所得・収入」：47.8%、「貯蓄」：49.6%）

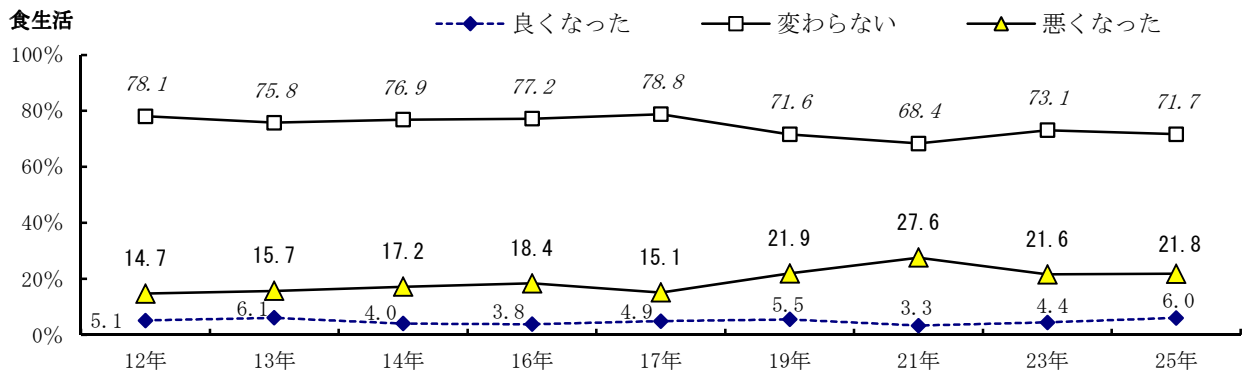
また、「良くなった」と答えた人の割合が比較的多い項目としては「道路など公共施設による便利さ」（11.5%）、「電気器具、家具、自動車など耐久消費財」（10.7%）、「通勤や買物の便利さ」（9.7%）などが挙げられるが、「道路など公共施設による便利さ」を除く全ての項目で「悪くなった」を下回っている。



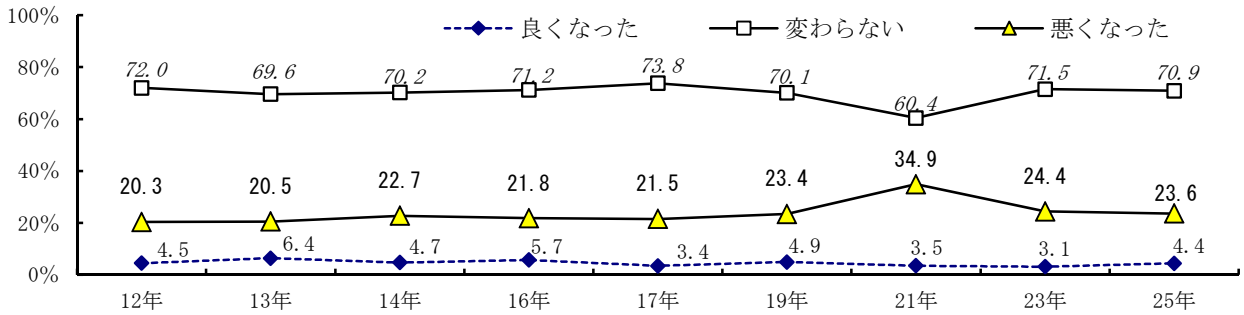
【経年変化】

経年変化をみると、前回調査に比べて、「良くなった」と答えた人の割合が、「電気器具など耐久消費財」を除く全ての項目において増加し、特に「道路など公共施設による便利さ」は、4.0ポイント増加している。

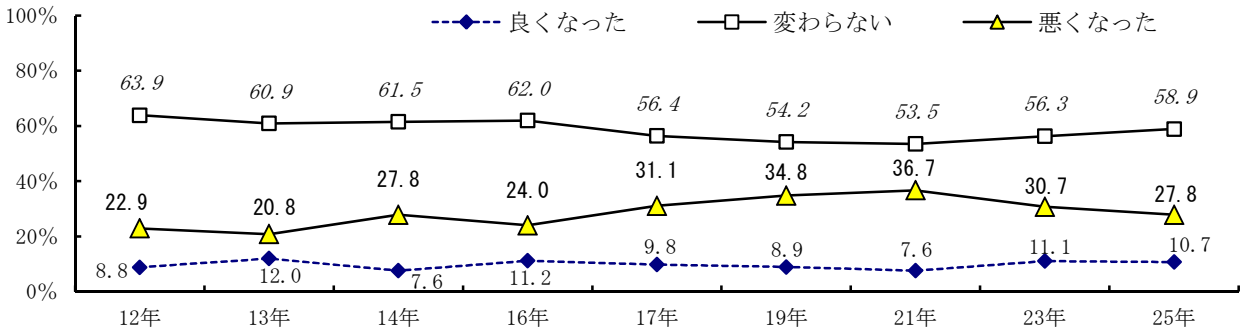
また、「悪くなった」と答えた人の割合は、「食生活」を除く全ての項目において減少しているが、特に「貯蓄」は、5.2ポイント減少し、「レジャー・余暇生活」は4.1ポイント減少している。



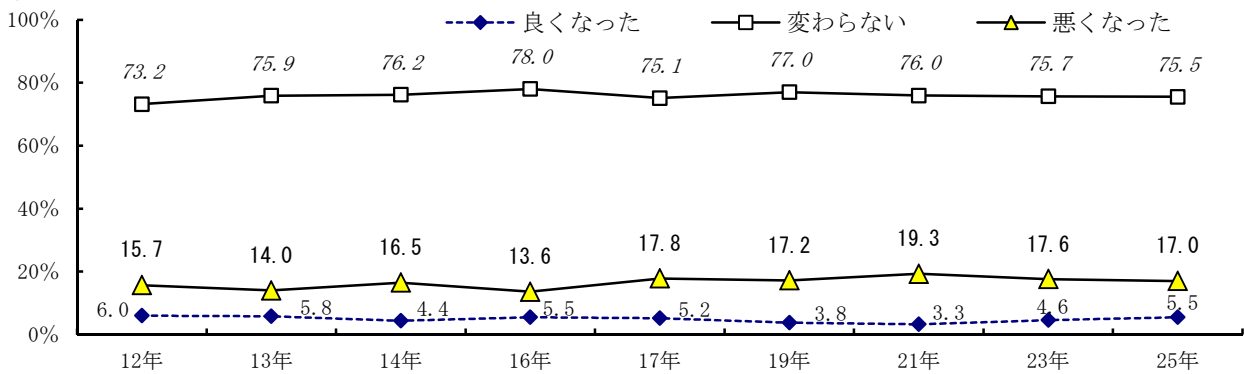
衣服



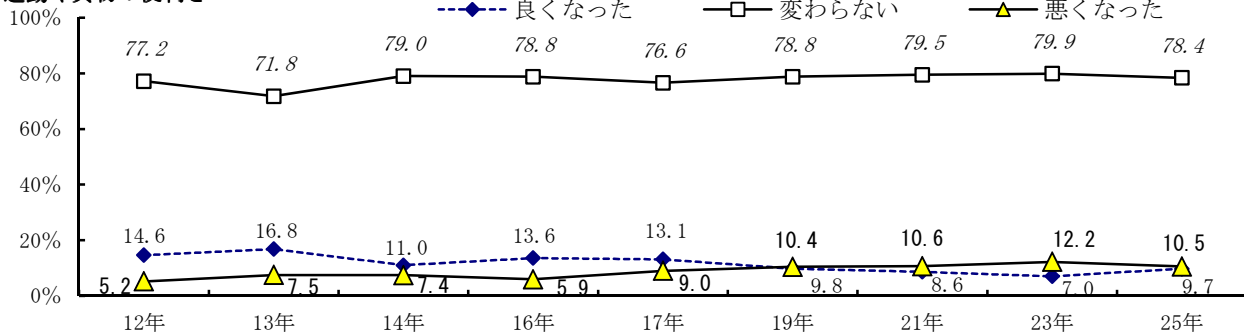
電気器具など耐久消費財



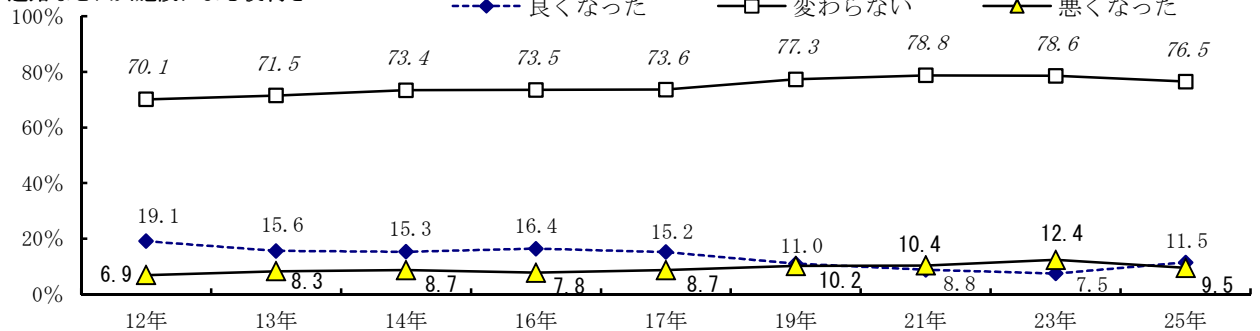
住宅



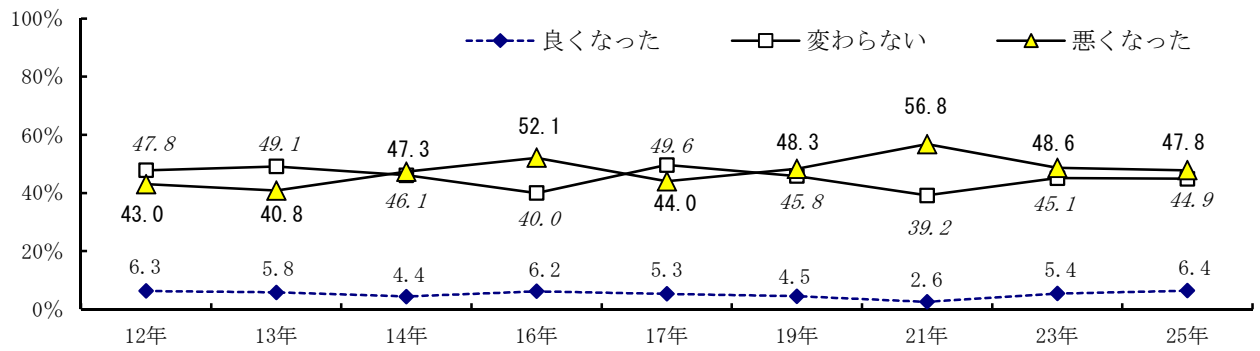
通勤や買物の便利さ



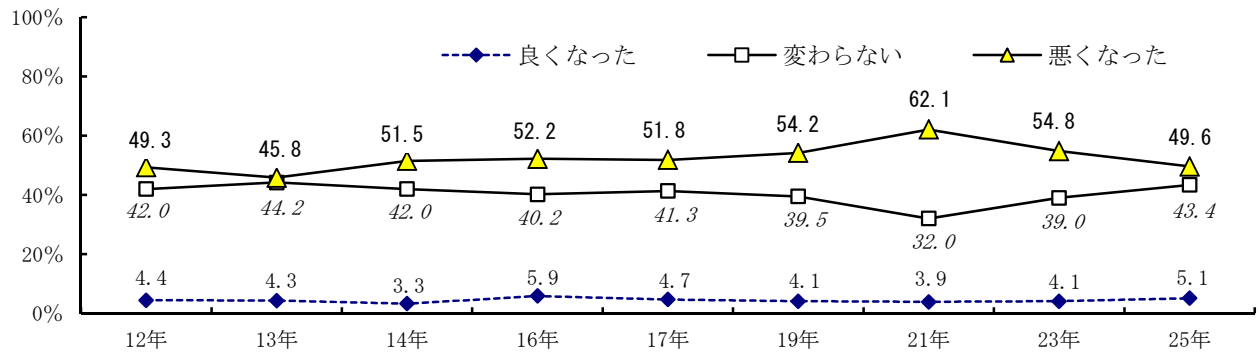
道路など公共施設による便利さ



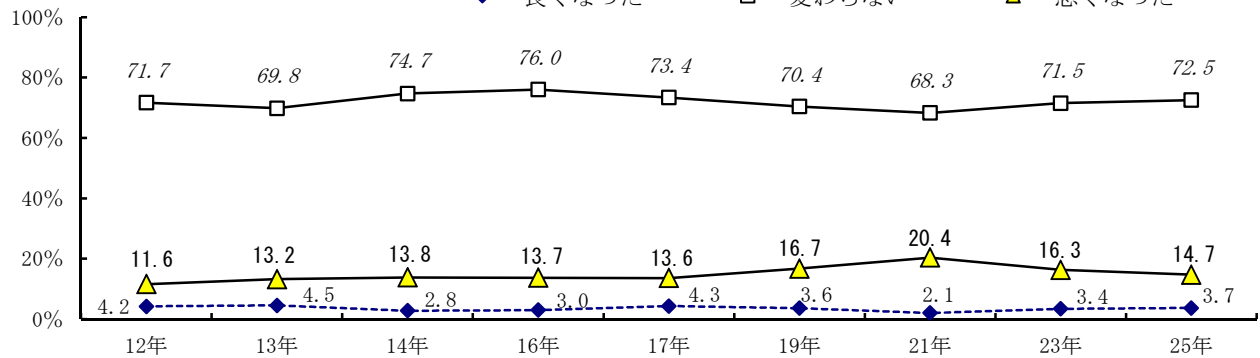
所得・収入



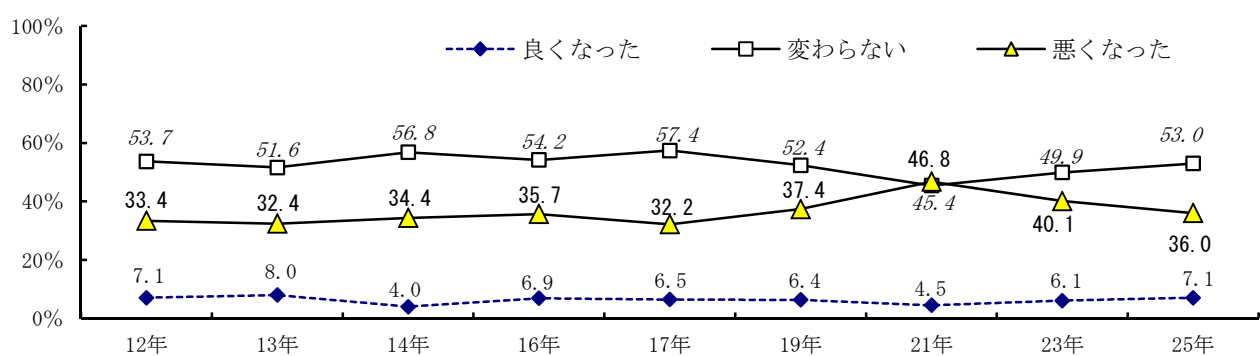
貯蓄



教育・教養



レジャー・余暇生活



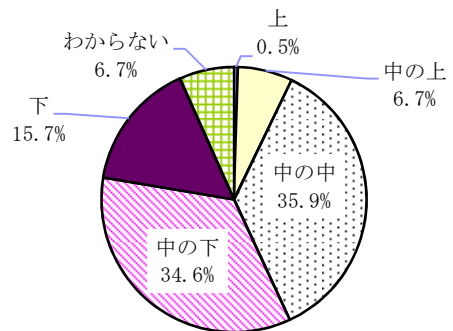
問3 暮らし向きの程度

お宅の暮らしの程度は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 上	0.5
2 中の上	6.7
3 中の中	35.9
4 中の下	34.6
5 下	15.7
6 わからない	6.7

暮らし向きの程度を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の中」と答えた人の割合が35.9%で最も多く、「中の上」(6.7%)及び「中の下」(34.6%)と合わせて77.2%の人が中流意識を示している。

また、「上」と答えた人の割合は0.5%、「下」と答えた人の割合は15.7%であった。

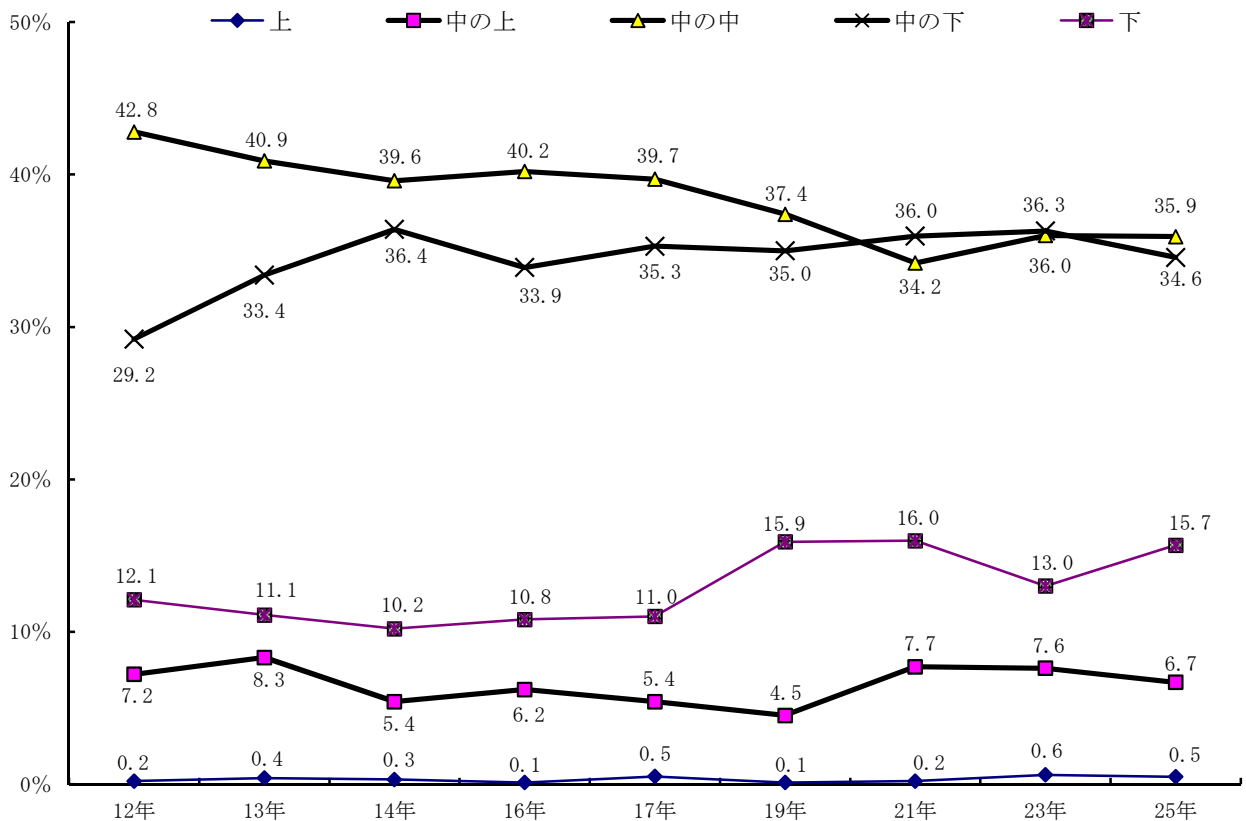


(中 77.2%)

【経年変化】

経年変化をみると、暮らし向きに対する県民の中流意識は引き続き強く、いずれの調査年においても、80%程度の人が、自分の家庭の暮らし向きの程度を中程度だと評価しているが、今回調査では、「中」と答えた人の割合は、前回調査と比較して2.7ポイント減少している。

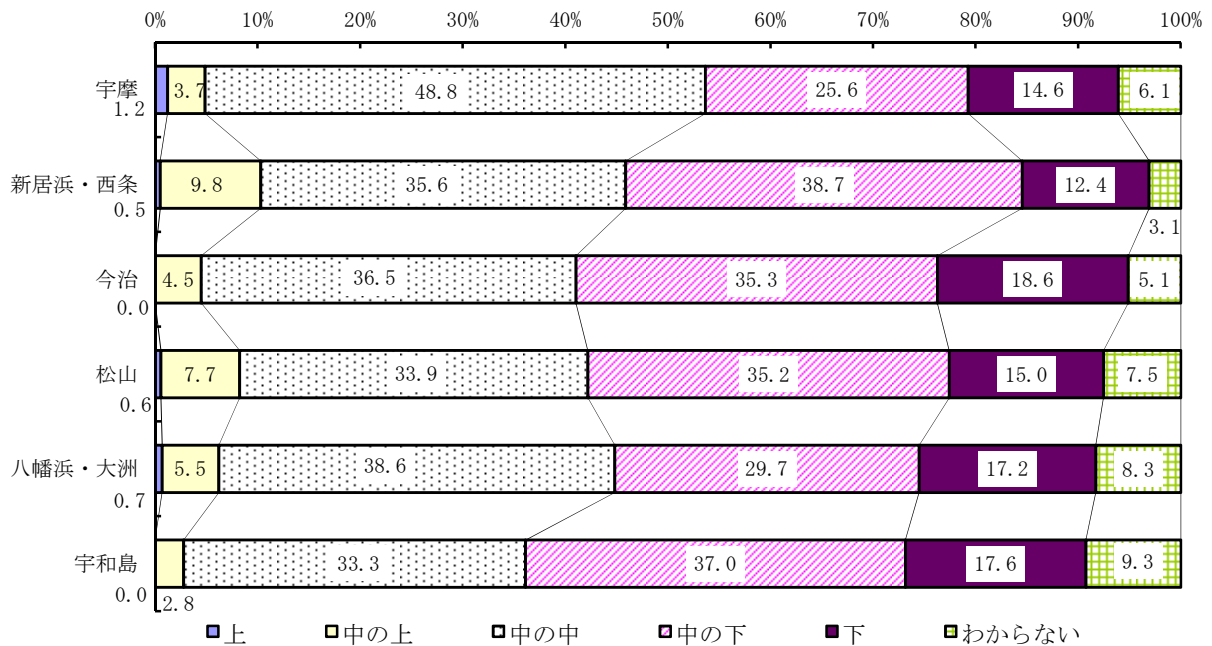
また、「下」と答えた人の割合は2.7ポイント増加している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域、今治圏域、八幡浜・大洲圏域では「中の中」と答えた人の割合が、新居浜・西条圏域、松山圏域、宇和島圏域では「中の下」と答えた人の割合が最も多くなっている。

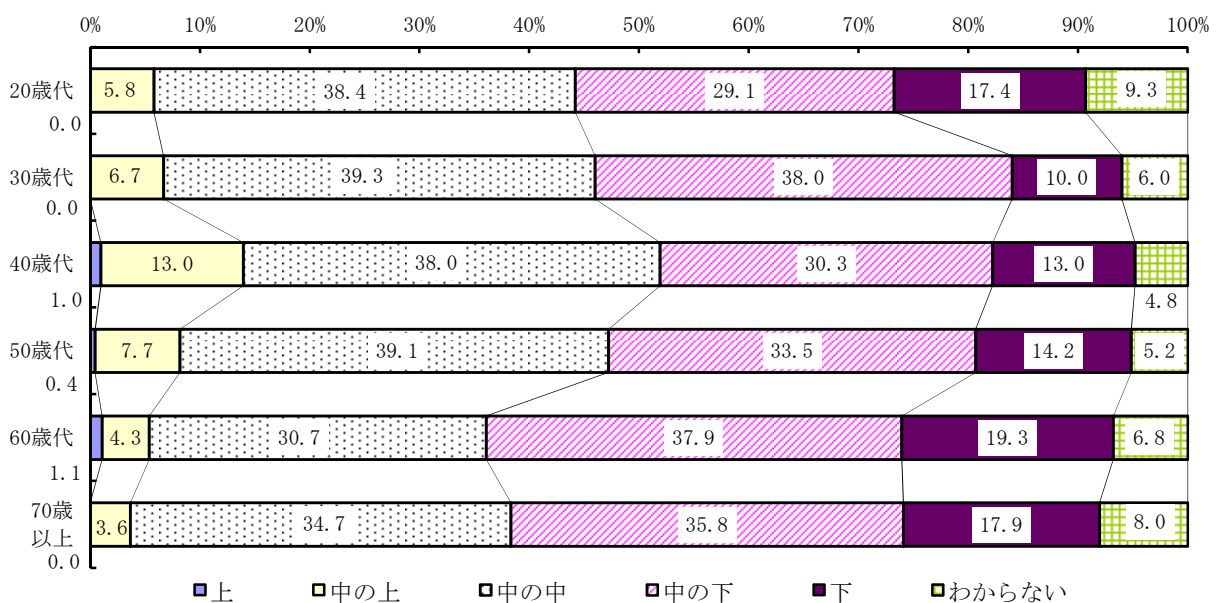
また、前回調査と比較すると、「下」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域（17.2%：前回調査より8.9ポイント増加）増加しているが、「中の下」では（29.7%：前回調査より11.7ポイント減少）減少している。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以下の年代では、「中の中」と答えた人の割合が最も多く、60歳代以上では、「中の下」が最も多くなっている。中でも40歳代では「中の下」が前回調査より8.2ポイント減少し30.3%となっている。

また、前回調査と比較すると、20歳代で「下」と答えた人の割合が前回調査より11.1ポイント増加し、「中の中」は10.6ポイント減少している。



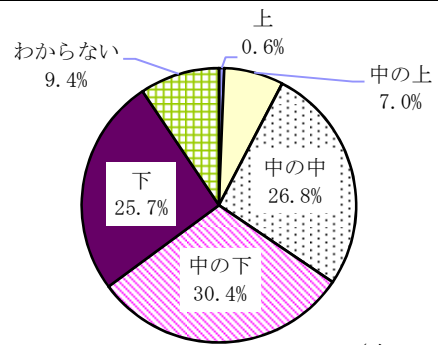
問4 資産の程度

お宅の資産（土地、家屋、預貯金等）は、世間一般からみて、次のどれに入りますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 上	0.6
2 中の上	7.0
3 中の中	26.8
4 中の下	30.4
5 下	25.7
6 わからない	9.4

資産（土地、家屋、預貯金等）を世間一般からみてどの程度だと思っているかを聞いたところ、「中の下」と答えた人の割合が30.4%で最も多く、「中の中」（26.8%）及び「中の上」（7.0%）と合わせて64.2%の人が中流意識を示しているが、問3の暮らし向き程度の（中：77.2%、下：15.7%）と比較すると評価が低い。

また、「上」と答えた人の割合は0.6%、「下」と答えた人の割合は25.7%であった。

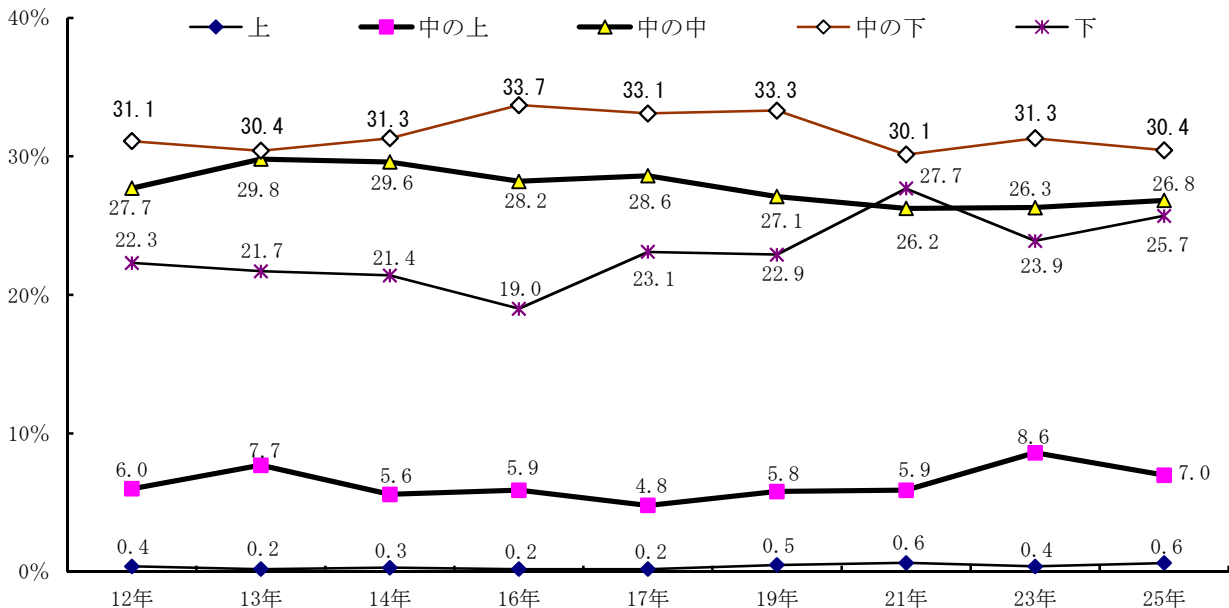


(中 64.2%)

【経年変化】

経年変化をみると、資産に対する県民の中流意識は引き続き強いが、前回調査と比較すると「中」と答えた人の割合は2.0ポイント減少している。

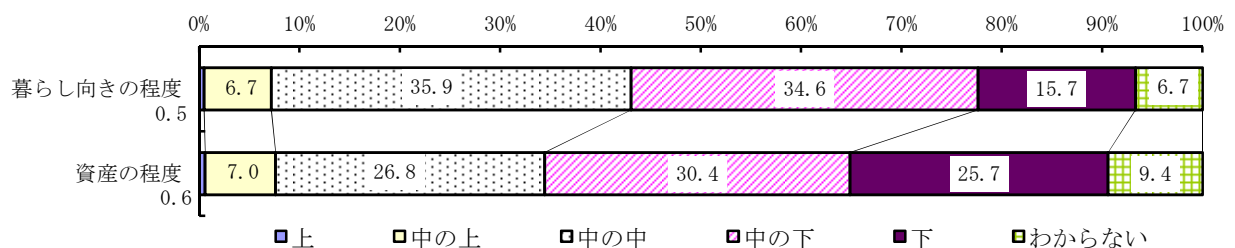
また、「下」と答えた人の割合が前回調査より1.8ポイント増加し、「中の上」と答えた人の割合は前回調査より1.6ポイント減少した。



【暮らし向きの程度と資産の程度】

問3の暮らし向きの程度と問4の資産の程度の意識を比較してみると、暮らし向きの程度の方は「中の中」、資産の程度の方は「中の下」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「中」と答えた人の割合は暮らし向きの程度の方が13.0%多く、「下」は資産の程度の方が10.0%多くなっている。



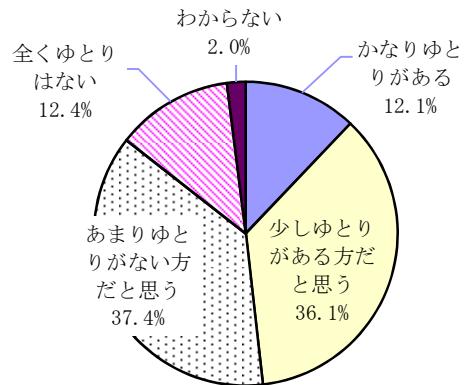
問5 生活のゆとり感

あなたは、普段の生活で時間的なゆとりがある方だと思いますか。それともない方だと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 かなりゆとりがある	12.1
2 少しゆとりがある方だと思う	36.1
3 あまりゆとりがない方だと思う	37.4
4 全くゆとりはない	12.4
5 わからない	2.0

普段の生活における時間的なゆとりの有無について聞いたところ、「ゆとりがある」と答えた人の割合は48.2%（「かなりゆとりがある」（12.1%）、「少しゆとりがある方だと思う」（36.1%））であった。

また、「ゆとりがない」は49.8%（「あまりゆとりがない方だと思う」（37.4%）、「全くゆとりはない」（12.4%））であり、時間的なゆとりがないと感じている人の方が、やや多くなっている。

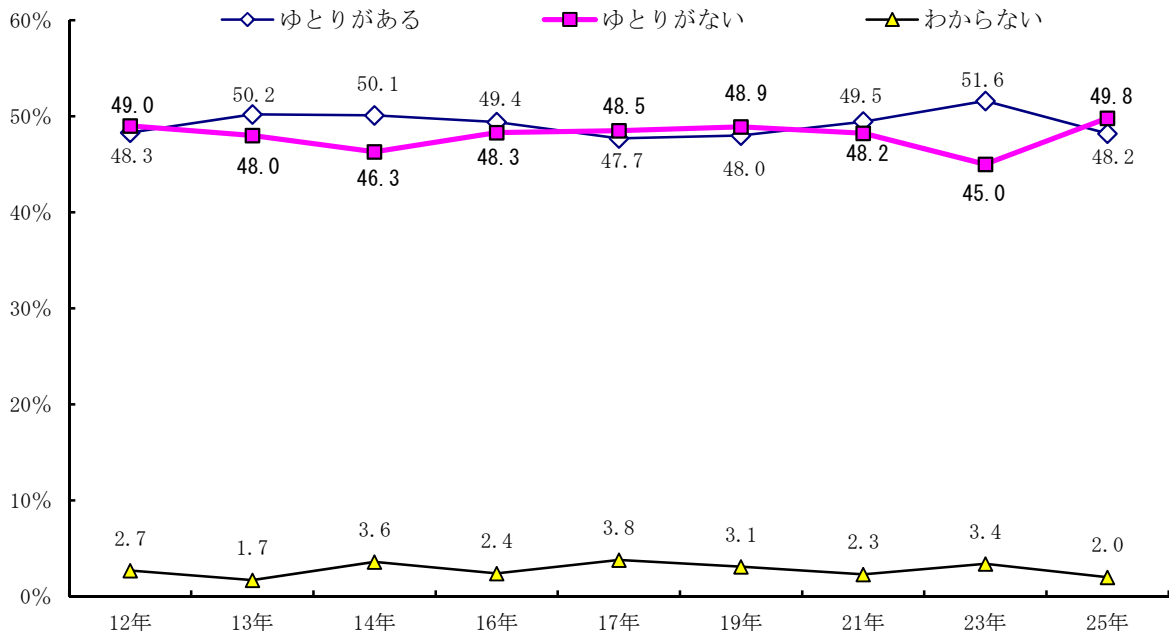


(ゆとりはない 49.8%)

(ゆとりがある 48.2%)

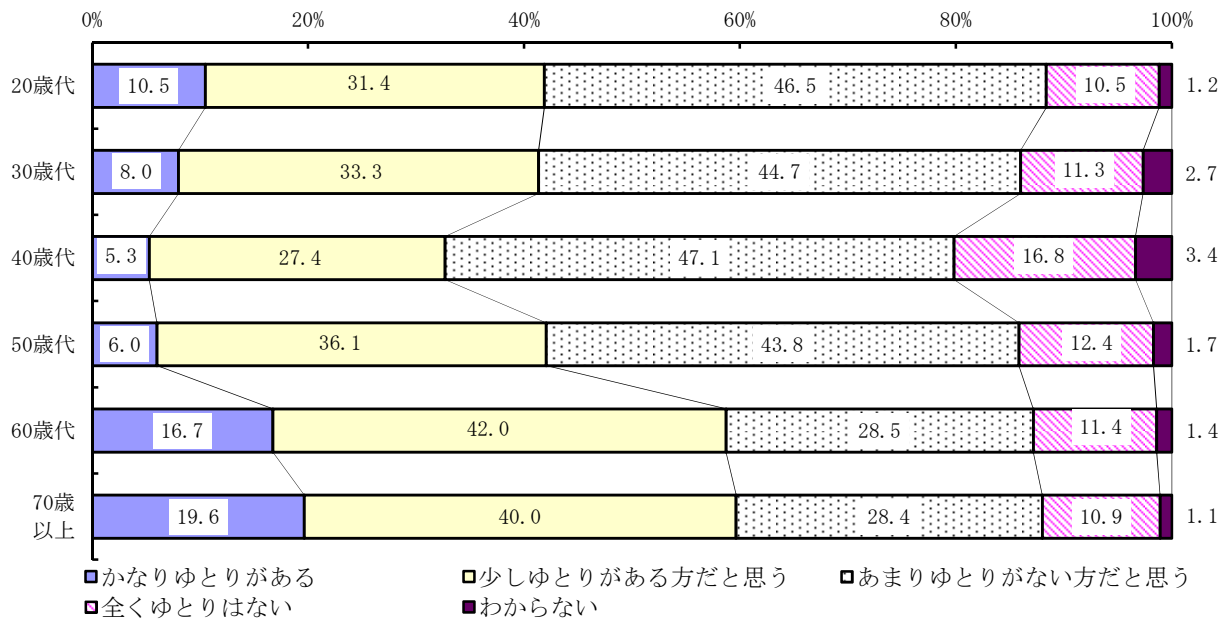
【経年変化】

経年変化をみると、「ゆとりがある」と答えた人の割合は、前回調査より3.4ポイント減少し、「ゆとりがない」は、前回調査より4.8ポイント増加している。



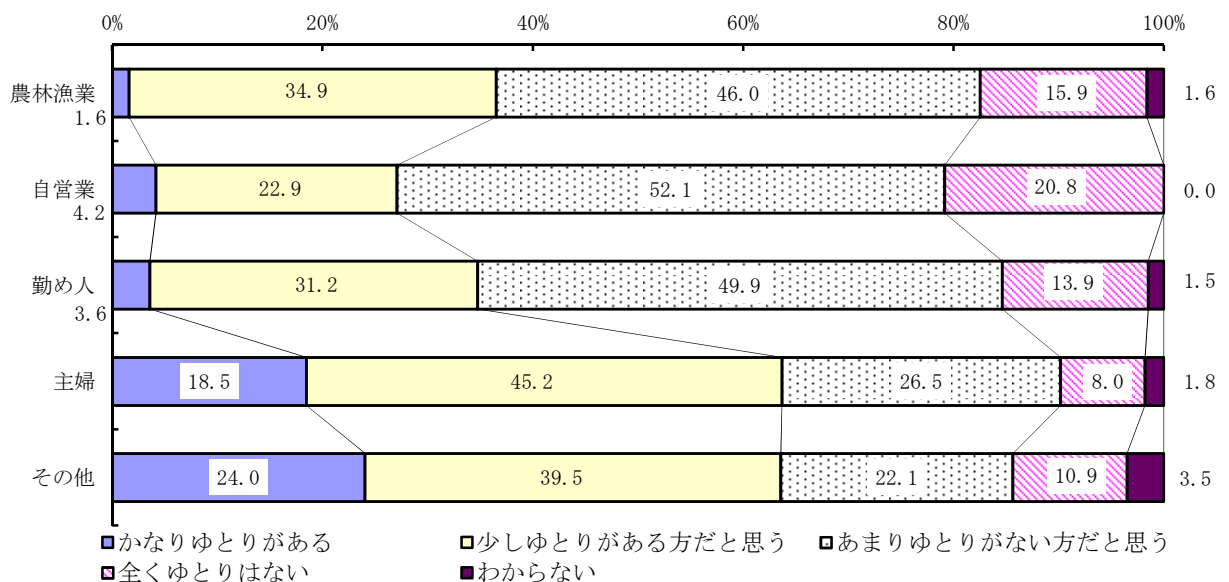
【年齢別】

年齢別にみると、60歳代及び70歳以上では「ゆとりがある」と答えた人の割合の方が多く、20歳代から50歳代では「ゆとりがない」の方が多くなっている。特に「ゆとりがある」は60歳代以上（60歳代：58.7%、70歳以上：59.6%）で多く、「ゆとりがない」は40歳代（63.9%）、20歳代（57.0%）で多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、主婦及びその他では「ゆとりがある」と答えた人の割合が60%以上で、「ゆとりがない」を大きく上回っており、農林漁業、自営業及び勤め人では「ゆとりがない」の方が多く、自営業では72.9%で特に多くなっている。

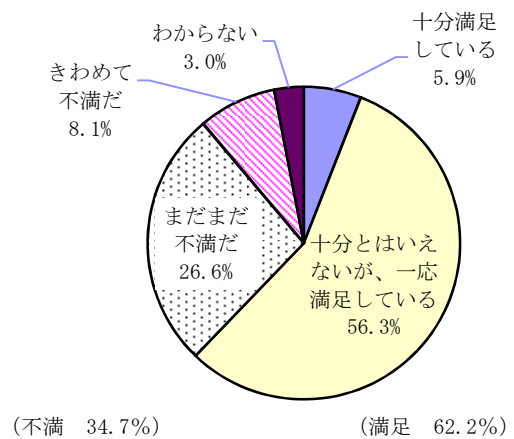


問6 暮らしに対する満足度

あなたは、現在のお宅の暮らしに満足していますか。それとも不満ですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

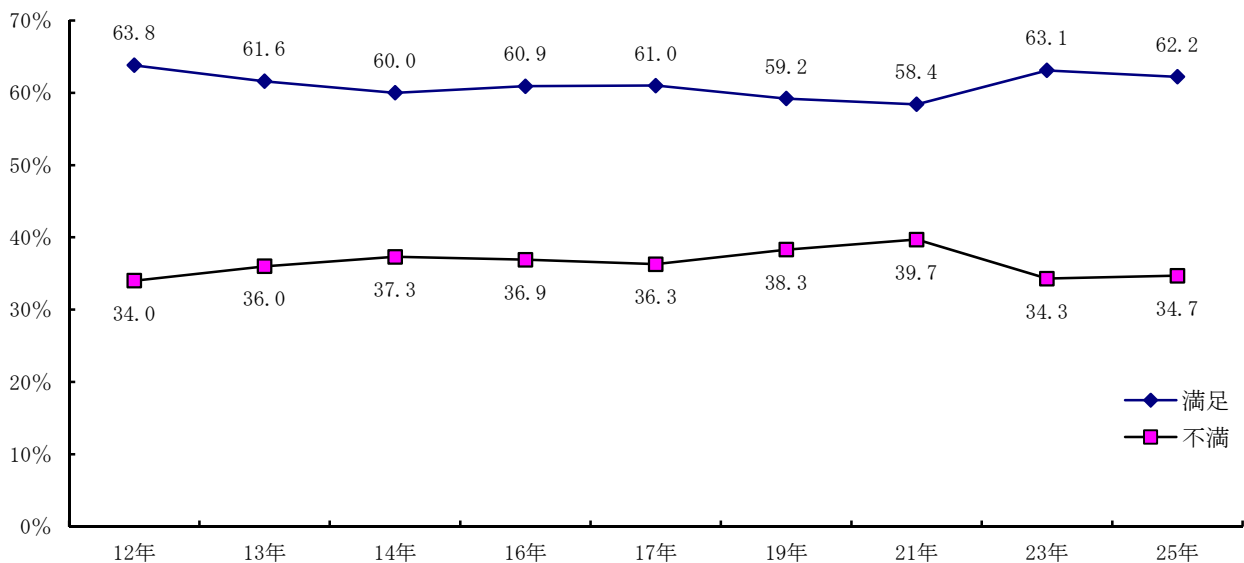
	(%)
1 十分満足している	5.9
2 十分とはいえないが、一応満足している	56.3
3 まだまだ不満だ	26.6
4 きわめて不満だ	8.1
5 わからない	3.0

現在の暮らしに満足しているか、それとも不満かを聞いたところ、「満足」と答えた人の割合が62.2%（「十分満足している」（5.9%）、「十分とはいえないが、一応満足している」（56.3%）であったのに対し、「不満」は34.7%（「まだまだ不満だ」（26.6%）、「きわめて不満だ」（8.1%））で、現在の暮らしに満足していると感じている人の方が多くなっている。



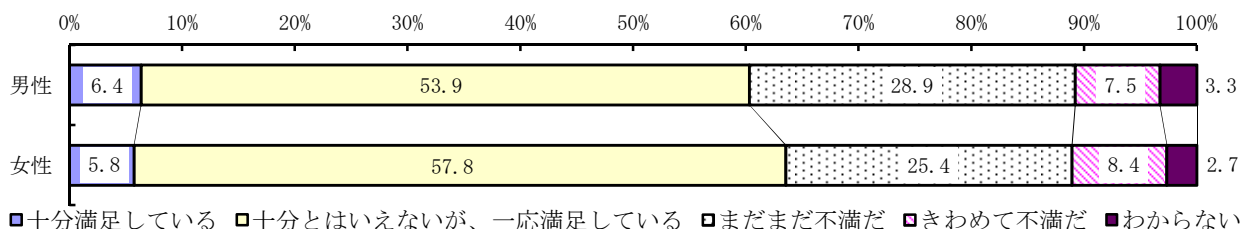
【経年変化】

経年変化をみると、「満足」と答えた人の割合は、前回調査より0.9ポイント減少している。一方、「不満」と答えた人の割合は、前回調査より0.4ポイント増加している。



【性別】

性別にみると、「満足」と答えた人の割合は、男性で60.3%、女性で63.6%とどちらも60%を超えているが、女性の方が3.3ポイント多くなっている。（前回調査でも女性の方が4.9ポイント多かった。）
一方、「不満」と答えた人の割合は、男性が36.4%、女性が33.8%で、男性の方が2.6ポイント多くなっている。（前回調査でも男性の方が4.3ポイント多かった。）

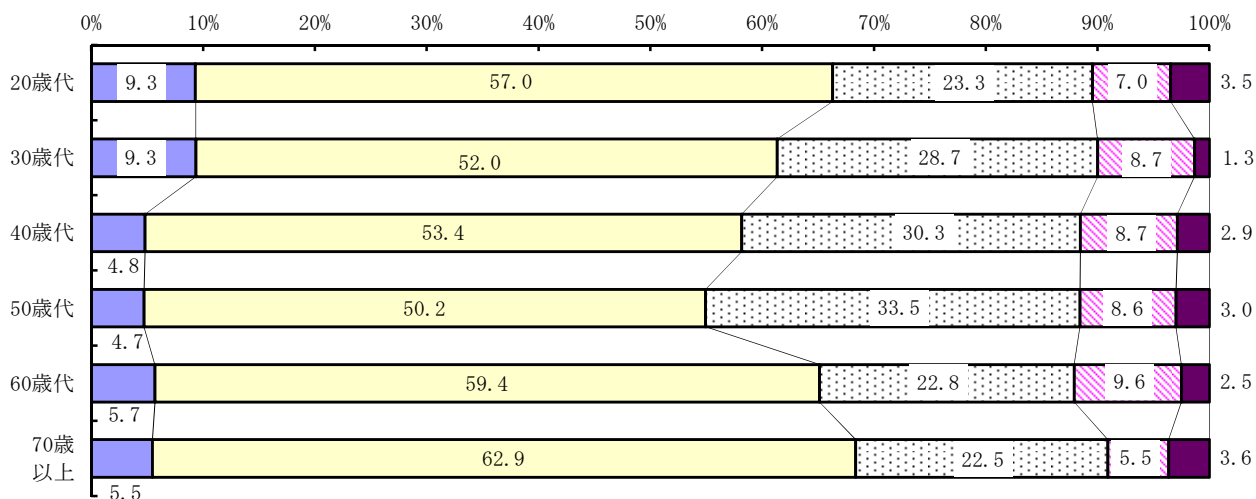


■十分満足している □十分とはいえないが、一応満足している □まだまだ不満だ ■きわめて不満だ ■わからない

【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも70歳以上（「満足」：68.4%、「不満」：28.0%）及び20歳代（「満足」：66.3%、「不満」：30.3%）で特に大きく上回っている。

一方、「不満」と答えた人の割合は50歳代（42.1%）で最も多く、以下40歳代（39.0%）、30歳代（37.4%）の順となっている。



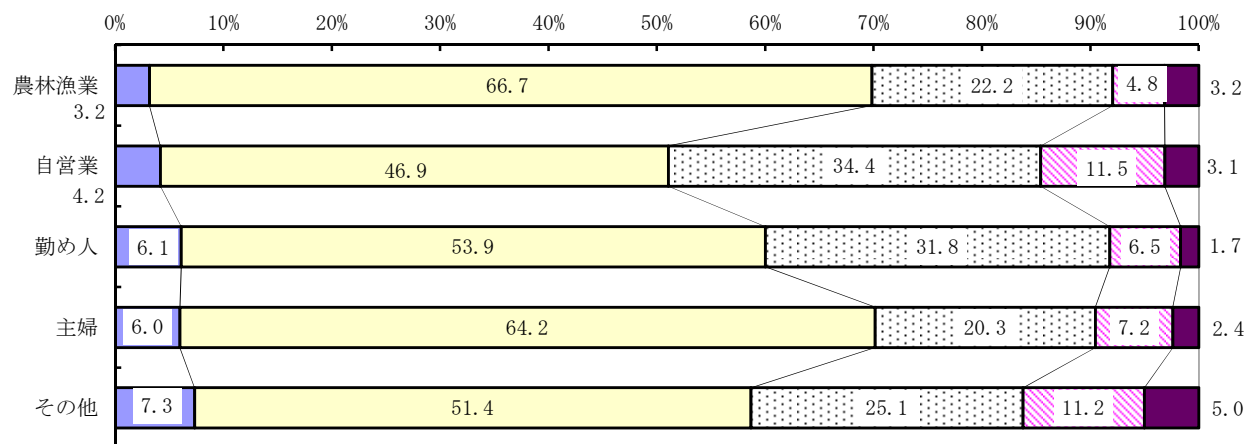
■十分満足している □十分とはいえないが、一応満足している □まだまだ不満だ ■きわめて不満だ ■わからない

【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「満足」と答えた人の割合が「不満」を上回っており、中でも農林漁業（「満足」：69.9%、「不満」：27.0%）、主婦（「満足」：70.2%、「不満」：27.5%）で特に大きく上回っている。

一方、「不満」と答えた人の割合は、自営業（45.9%）で最も多く、以下勤め人（38.3%）、その他（36.3%）の順となっている。

また、前回調査と比較すると、自営業では「十分とはいえないが、一応満足している」と答えた人の割合が6.0ポイント減少し、「まだまだ不満だ」と答えた人の割合が6.0ポイント増加している。



■十分満足している □十分とはいえないが、一応満足している □まだまだ不満だ ■きわめて不満だ ■わからない

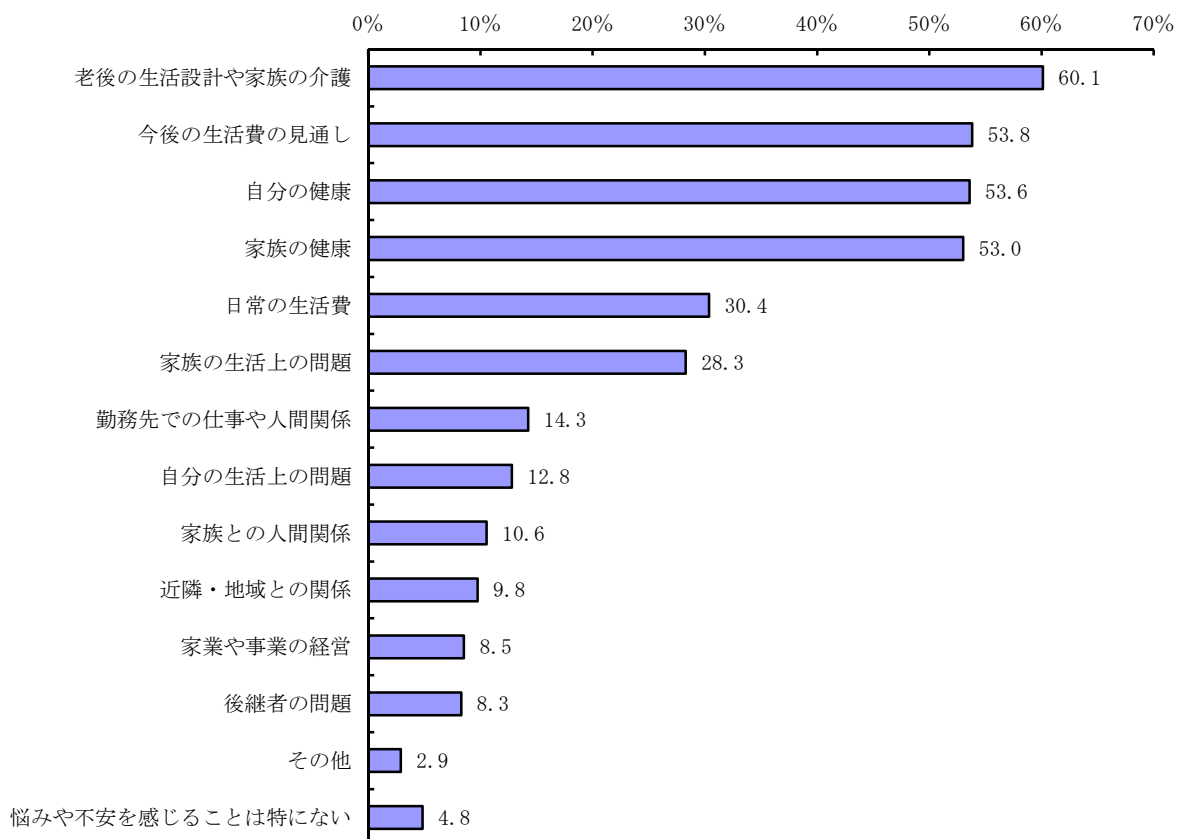
問7 日常生活での悩みや不安

あなたが、日常生活の中で悩みや不安を感じていることがあれば、次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

(複数回答) (%)

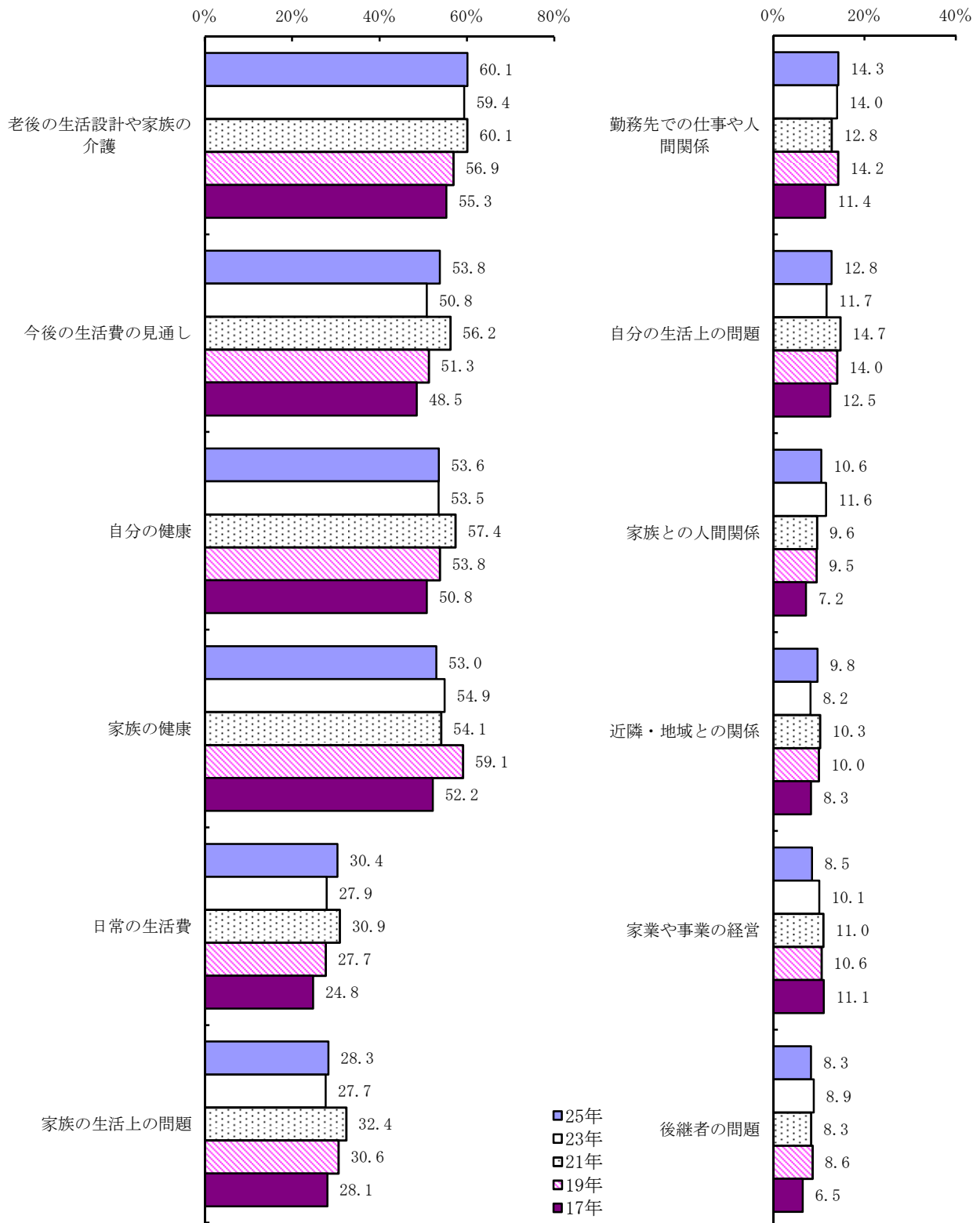
1 自分の健康について	53.6
2 家族の健康について	53.0
3 自分の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について	12.8
4 家族の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について	28.3
5 日常の生活費について	30.4
6 今後の生活費の見通しについて	53.8
7 後継者の問題（家業、農林漁業の将来）について	8.3
8 家業や事業の経営（農林漁業を含む）について	8.5
9 家族との人間関係について	10.6
10 近隣・地域との関係について	9.8
11 勤務先での仕事や人間関係について	14.3
12 老後の生活設計や家族の介護について	60.1
13 その他	2.9
14 悩みや不安を感じることは特にない	4.8

日常生活の中で悩みや不安を感じていることがらを聞いたところ、「老後の生活設計や家族の介護について」と答えた人の割合が60.1%と最も多く、以下「今後の生活費の見通しについて」（53.8%）、「自分の健康について」（53.6%）、「家族の健康について」（53.0%）の順であり、将来の生活や健康に関する悩みや不安を感じている人が多くなっている。



【経年変化】

経年変化をみると、悩みや不安の上位の項目は、平成17年調査以降大きな変化は見られないが、老後の生活設計や家族の介護に関する悩みや不安を感じている人が増加傾向にある。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、30歳代では「今後の生活費の見通し」と答えた人の割合が最も多く、40歳代から60歳代では「老後の生活設計や家族の介護」、70歳以上では「自分の健康」が最も多くなっている。

また、20歳代では「自分の生活上の問題」と答えた人の割合が他の年齢層と比較して特に多くなっているほか、「老後の生活設計や家族の介護」は50歳代で他の年齢層と比較して多く、「家族の生活上の問題」は40歳代及び50歳代で多く、「自分の健康」は年齢が高くなるほど多くなっているなど、各年齢層によって悩みや不安を感じている項目に大きな違いが見られる。

